

● 便秘に関する薬剤の適切な使用を考えてみましょう。

1 直腸に便が滞っている場合は
どのような薬が必要でしょうか。

2 腸の動きが悪い場合は
どのような薬が必要でしょうか。

3 おむつ・下着に漏便がついたときでも便秘の可能性が考えられます。
それは、どのような原因・状態と考えられるでしょうか。

● 便秘に関する薬剤の適切な使用を考えてみましょう。

1 直腸に便が滞っている場合は
どのような薬が必要でしょうか。

坐薬や浣腸など便排出を促進する薬剤
が必要です。

2 腸の動きが悪い場合は
どのような薬が必要でしょうか。

便に水分を含有させる緩下剤、あるいは
腸刺激性下剤を使用します。

3 おむつ・下着に漏便がついたときでも便秘の可能性が考えられます。
それは、どのような原因・状態と考えられるでしょうか。

直腸内に便が溜まっている状態でも、下剤によって上の方で緩くなった水様便が
糞便の間をつたって漏れ出てくることもあります。

また、寝たきりや極端に運動量が少ない人で直腸に便が詰まり、出せない時間が
長く続くと、便の表面だけが溶けて、泥状の便が少しずつ流れ出てくること
があります。

このような場合は、内診やレントゲンで腹部の状態、直腸内に便が詰まってい
ないかどうかを確認します。

● スキントラブルの原因と予防・解決策を考えてみましょう。

原因	具体的原因	予防・解決策
1 化学的刺激		
2 物理的刺激		
3 皮膚の湿潤		
4 皮膚バリアの機能低下		

● スキントラブルの原因と予防・解決策を考えてみましょう。

原因	具体的原因	予防・解決策
1 化学的刺激	便の付着	<ul style="list-style-type: none"> ● 便性を整える ● まとめて排出する ● 直接便が触れないように皮膚を保護する ● コットンを肛門周囲につけて受ける
2 物理的刺激	<ul style="list-style-type: none"> ● 頻回、強い拭き取り ● おむつの圧迫 	愛護的な洗浄
3 皮膚の湿潤	おむつによる蒸れ	<ul style="list-style-type: none"> ● おむつの選択 ● おむつの重ね使いをしない ● 適切な交換
4 皮膚バリアの機能低下	皮脂、保湿の減少	<ul style="list-style-type: none"> ● 皮膚保護剤の使用 ● 頻回に石けんを使用しない